

第3回審議会の振返り まちの将来像とヴィジョン及び取組方針の素案の修正について
取組の方向（内容）の素案について

番号	委員名	キーワード	発言内容
1	坪井委員	高齢者	取組を実施していくにも、長続きできる仕組みづくりが必要だと思う。
2	古池委員	高齢者	高齢者は福祉の対象というよりは、これからの高齢者の在り方として、高齢者の知恵を発揮して地域の中で生かしてもらおうという視点が重要。
3	小柳委員	高齢者	取組はある程度、組織的に進めないと持続的には続かないと思う。
4	和田委員	高齢者	シニア世代が活躍でき、生きがいにつながる仕組みづくりが必要。
5	秦野委員	高齢者 子育て世代	多様な働き方ができる空間を既存のインフラを生かしてつくれるとよい。
6	渡邊委員	子育て世代	東部地域の図書室も、中央図書館のように子どもたちが勉強できるスペースを増やしてほしい。
7	和田委員	次世代	中高生などの次世代からやりたいことを抽出して東部エリアで定期的実施できる仕組みをつくれればいいのではないか。
8	原委員	都市インフラ	従来から東部地域は取り残されている気がする。東部一体でどうしていくかということのを常に考えていく必要がある。ソフト面もさることながらハード面として道路整備等を進める必要がある。
9	小柳委員	次世代 農業・商工業	地元で愛着を持つ教育を学校だけでなく、地域に広げて実施できると面白いのではないかなと思う。
10	稲垣委員	農業・商工業	高齢化になっている農家（桃）を支援するため JA を中心に実施しているモモサポーター制度を周知したい。
11	村上委員	農業・商工業	農業される方がこれからもっと活気づくような取組をやっていければいいなと思う。大規模な農業ができる仕組みが後押しできればとも思う。
12	村上委員	地域資源	魅力のひとつである自然の保全という視点が重要だと思う。
13	三木委員	住まい	空き家のリノベーションを中部大学の学生と連携するような取組、さらには、そこが学生のシェアハウスになっていくような取組ができると面白い。
14	横山委員	基盤	持続可能な運営という面で、地域での取組を実施する場合、ワンインワンアウトのようにしっかりと整理しないと行けないと思う。 また、公共私役割分担を考えないと行けないと思う。

番号	委員名	キーワード	発言内容
15	古池委員	全体	東部地域の遊休資源の組合せ方を考えるとガラッと見え方が変わるのではないか。既存の取組や既存ストックなどつなげるだけで、いろいろと解決できる気がする。もっとワクワクする計画にしたい。
16	落合委員	全体	地域で取組んでいる人が楽しんで取組を進めていく中で、活動者が増えてくるような視点への変化が必要。課題を解決しようと義務感だけで行うということでは長続きしない。
17	蛭原委員	全体	ヴィジョン、取組方針と数が多いので実現が可能か不安になる、もっとも大事なことは若い世代をいかに誘致するかだと思ふ。
18	古池委員	全体	多様なライフスタイルがこの東部地域で実現できるようなどころであつたらいいなと思ふ。
19	大塚 職務代理	全体	取組の方向の組合せによっては、ひとつの取組がいろいろと関係してくるため、具体的に考えていくと一石二鳥、一石三鳥な取組というものが見えてくるのではないかと。
20	中川委員	その他	小牧市自身がチャレンジしてもらいたい。
21	小柳委員	その他	アクションプランが極めて大事だと思ふ。
22	増田会長	その他	次回は重点プロジェクトや具現化できるプロジェクトみたいな形で一度考えてみたいと思ふ。